

行政コスト計算書
平成14年4月1日～平成15年3月31日

地域振興整備公団

	地方都市開発整備等事業勘定	工配再配置等事業勘定	産炭地域経過業務勘定	合計
業務費用				
仮定計算書上の費用				
販売用不動産造成事業費	13,160,443,075	3,076,881,705	1,156,702,515	17,394,027,295
工場等事業費	-	667,738,299	-	667,738,299
工業用水道事業費	-	-	687,082,756	687,082,756
投融資事業費	-	427,229,984	147,094,256	574,324,240
利子補給金	-	-	9,655,220	9,655,220
受託業務費	997,491,426	988,645,492	-	1,986,136,918
一般管理費	720,989,028	4,019,386,836	1,686,377,370	6,426,753,234
貸倒引当金繰入	1,256,387,247	-	217,812,567	1,474,199,814
事業外費用	3,606,337,993	2,468,201,126	936,262,224	7,010,801,343
宅地等事業資産圧縮損	12,916,438,299	-	-	12,916,438,299
販売用事業資産評価損	2,820,200,828	1,018,830,943	-	3,839,031,771
宅地原価差損	28,189,257	-	-	28,189,257
固定資産売却損	-	10,123,475	7,719,416,357	7,729,539,832
固定資産除却損	-	-	5,244,468	5,244,468
株式処分損	-	356,060,709	25,317,492	381,378,201
(控除)				
販売用不動産造成事業収入	13,537,440,415	3,511,999,382	715,858,735	17,765,298,532
工場等事業収入	-	666,626,417	-	666,626,417
工業用水道事業収入	-	-	1,248,587,970	1,248,587,970
投融資事業収入	-	774,556,391	317,827,788	1,092,384,179
受託業務収入	997,491,426	988,645,492	-	1,986,136,918
事業外収益	23,903,390	207,259,877	24,290,665	255,453,932
貸倒引当金戻入	-	10,624,123	-	10,624,123
固定資産売却益	-	16,760,000	34,037,712	50,797,712
業務費用計	20,947,641,922	6,856,626,887	10,250,362,355	38,054,631,164
機会費用				
国有財産無償使用の機会費用	-	4,164,000	-	4,164,000
政府出資金等に係る機会費用	66,920,000	590,443,000	430,748,500	1,088,111,500
資本剰余金に係る機会費用	-	-	271,534	271,534
低利借入金に係る機会費用	62,656,333	-	-	62,656,333
公務員からの出向職員に係る退職給付引当金増加額	37,912,232	45,161,404	11,071,464	94,145,100
機会費用計	167,488,565	639,768,404	442,091,498	1,249,348,467
行政コスト	21,115,130,487	7,496,395,291	10,692,453,853	39,303,979,631

(注1) 合計欄は地方都市開発整備等事業勘定、工業再配置等事業勘定及び産炭地域経過業務勘定の単純合計である。

(注2) 産炭地域経過業務勘定の販売用不動産造成事業収入の中に、販売用土地売上高及び割賦利息収入の発生額を計上している。

(注3) 行政コストの中には、土地区画整理事業の施行者たる当公団が建設し地方公共団体に引き渡す道路等の公共施設の整備費の対価として、地方公共団体から当公団に交付される補助金(公共施設管理者負担金及び土地区画整理事業分担金)等が12,916,438,299円含まれており、これを控除した場合の行政コストは都市勘定で8,198,692,188円、3勘定合計では26,387,541,332円となる。